

平成 23 年 7 月 29 日

新幹線全通の企業に対する影響と利用交通の調査

株式会社 鹿 児 島 銀 行
株式会社 鹿児島地域経済研究所

調査目的	九州新幹線鹿児島ルート ¹ の全線開通(3月12日)が県内企業にどのような影響を与えているかを調べるとともに、県外出張時の利用交通手段を調べ、今後の経済調査の指針とする。
調査時期	平成 23 年 6 月下旬
対象企業	県内主要企業 505 社
回答数	321 社
回答率	63.6%

(参考) 前回調査
調査時期 平成 22 年 12 月下旬
対象企業 506 社 回答数 317 社

【要約】

- ・ 新幹線全線開通は旅館・ホテルや食品業を中心に県経済にプラス効果を与えているものの、全線開通前の期待感ほどには届かず、業種全般への広がりや欠けている面もみられる。東日本大震災による影響がプラス効果を弱めていることがうかがえる。
- ・ 県外出張については新幹線利用の割合が沿線地域で上昇、とくに山陽地方の3県は新幹線の利用割合が80%にアップ、大阪、兵庫もあまり利用されてこなかった新幹線の利用割合が上昇した。とはいえ、大阪、兵庫については依然、航空機の利用も70%台と高く、ビジネスにおいては航空機の存在がなお大きいことが示された。

1. 業況への影響

調査結果によると、自社の業況に「プラス」と答えた企業から「マイナス」と答えた企業の割合を引いたD.I.は17となり、新幹線全通は県内企業の業況に好影響を与えていることがうかがえる。

業種別では、その他産業が最も高く28、卸売業が17、製造業が15、小売業が6、建設業が4と続く。ちなみに、旅館・ホテルのD.I.は66、運輸・通信は41となった。

ただ、今回調査では「影響なし」と回答した企業の割合が前回調査(平成22年12月)より増えたことなどから、前回の全産業D.I.29を12ポイント下回った。全通前の期待感ほどには届かず、業種全般への広がりや欠けている面もみられ、東日本大震災による影響がプラス効果を弱めていることがうかがえる。

業況に対するプラス要因は、「観光客や買い物客の流入による売り上げ増加」が67%と全体の3分の2を占め、「県外の商いが容易になる」「県外進出による取引先拡大」は6%と少なかった。

業況に対するマイナス要因は、「県外企業による競争激化」「事業所の県外移転」がそれぞれ29%と最も高く、「県外への労働力流出による人材確保が困難」は7%となった。「大都市圏への買い物客の流出」は、今回調査では該当はなく、現時点でストロー効果を指摘する企業はなかった。

2.県外出張時の交通手段

(鹿児島から県境を越える際に利用する交通手段)

(1)九州

福岡県向けの新幹線利用は、全通前 57%から全通後 77%に高まった。航空機利用は 9%から 5%に低下したが、前回同様、地理的に空港に近い企業の航空機利用の回答が目立った。乗用車利用も 27%から 15%に減少した。

熊本県向けも、新幹線利用が全通前 40%から全通後 53%に増加した。乗用車利用は 55%から 45%に減少するものの、車利用は依然半数近くを占める。熊本は沿線以外に出張する機会も多く、新幹線と車が使い分けされていることがうかがえる。

新鳥栖駅が設けられた佐賀県向けも、新幹線利用が全通前 39%から全通後 51%に増加した。新幹線は県東部のみを走ることから、乗用車利用は 51%から 41%に減ったものの、新幹線利用との差は 10 ポイントである。新幹線沿線から外れる長崎県は、新幹線利用が全通前 62%から全通後 38%に減少し、乗用車利用は 37%から 48%に高まり、全通後は車での出張が新幹線を上回る。大分県の新幹線利用は全通前 19%から全通後 21%とほぼ横ばい推移。乗用車利用は 66%から 61%に減るが、車利用は調査対象地域では最も高い。

一方、前回の全通後(見込み)と今回を比較すると、九州 5 県とも乗用車利用は今回が前回見込みを上回る結果となった。この理由としては、複数で出張ができるため移動コストを抑えられるとともに、荷物を運びやすいという車の利点があげられる。

(2)山陽地方

山口県の新幹線利用は全通前 46%から全通後 80%に大きく増加した。広島県は鹿児島中央と 2 時間 23 分で結ばれ、時間短縮効果が大きいことから、新幹線利用が 32%から 81%へ 2.5 倍に増加する一方、航空機は 48%から 12%に低下した。岡山県も鹿児島中央と 3 時間で結ばれることから、新幹線利用は 29%から 80%へ 2.8 倍増加したが、航空機は 52%から 13%に減少した。新幹線利用は 3 県とも 8 割超となり、県外出張に関する新幹線全通効果は山陽地方で顕著に表れている。

(3)大阪都市圏

域内に 3 つの空港が立地する大阪府、兵庫県は、新幹線と航空機が競合する。大阪府は新幹線利用が全通前の 3%から全通後 22%に増加し、航空機利用は 96%から 78%に低下している。兵庫県の新幹線利用は大阪府同様、5%から 27%にアップし、航空機利用は 94%から 72%に低下している。大阪都市圏への出張は、新幹線利用が大幅に増加しているものの、依然として航空機利用が 7 割と多い。一方、前回の全通後(見込み)と今回を比較すると、大阪府、兵庫県ともに航空機利用は前回見込みより今回が増えており、今後も直通新幹線のダイヤや割引料金設定などで企業の選択は流動するとみられる。

1. 貴社の業況への影響

【調査時期】

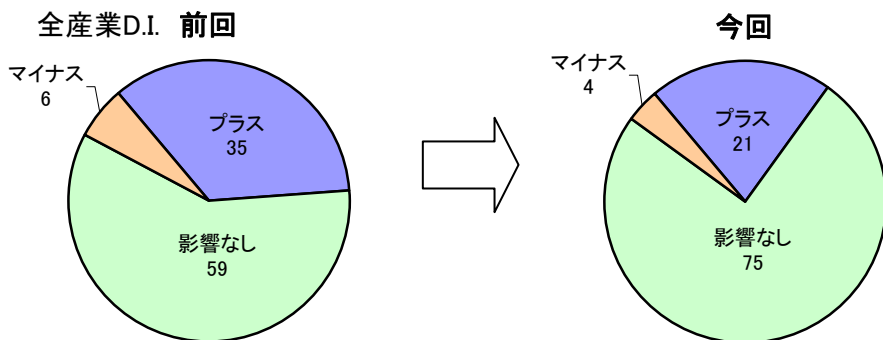
前回 …平成22年12月下旬

今回 …平成23年 6月下旬

(1) D.I.

	D.I.		プラス		影響なし		マイナス		回答数	
		(前回)		(前回)		(前回)		(前回)		(前回)
全産業	17	(29)	21	(35)	75	(59)	4	(6)	321	(317)
製造業	15	(31)	17	(33)	81	(65)	2	(2)	100	(101)
建設業	4	(4)	8	(9)	88	(86)	4	(5)	48	(43)
卸売業	17	(38)	22	(43)	73	(52)	5	(5)	37	(39)
小売業	6	(12)	10	(25)	86	(62)	4	(13)	49	(47)
その他産業	28	(43)	35	(51)	58	(41)	7	(8)	87	(87)
旅館・ホテル	66	(88)	77	(88)	12	(12)	11	(0)	17	(17)
運輸・通信	41	(42)	41	(52)	59	(38)	0	(10)	17	(21)
外食	0	(50)	33	(75)	34	(0)	33	(25)	3	(4)
サービス	16	(27)	23	(37)	70	(53)	7	(10)	43	(38)

注) D.I=「プラス」-「マイナス」



(2) 業況に「プラス」となる要因

(単位: %)

	全産業						
	(前回)	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
県外の観光客や買い物客の流入拡大による 売り上げ増加が期待される。	67	(70)	65	25	83	40	74
県外での営業や商いが容易になり、 業容の拡大が期待できる。	6	(11)	6	25	0	0	7
県外企業・事業所の進出により、 取引先の拡大が期待できる。	6	(11)	6	0	0	0	10
その他	21	(8)	23	50	17	60	9

注) (1)で「プラス」を選択した企業のみ回答。

(3) 業況に「マイナス」となる要因

(単位: %)

	全産業						
	(前回)	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
大都市圏を中心に買い物客等の 流出拡大が懸念される。	0	(21)	0	0	0	0	0
県外企業・事業所の進出により、 競争が一段と激化する。	29	(32)	50	50	100	50	0
取引先企業・事業所の県外移転や 規模縮小による影響が懸念される。	29	(21)	0	50	0	0	33
県外への労働力流出により、 人材確保が難しい。	7	(0)	50	0	0	0	0
その他	35	(26)	0	0	0	50	67

注) (1)で「マイナス」を選択した企業のみ回答。

2.県外出張時の交通手段

(鹿児島から県境を越える際に利用する交通手段)

(1)九州

(単位:%)

	福岡県			熊本県			佐賀県			長崎県			大分県		
	前回		今回	前回		今回	前回		今回	前回		今回	前回		今回
	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後
		(見込み)			(見込み)			(見込み)			(見込み)			(見込み)	
新幹線	57	80	77	40	62	53	39	58	51	62	50	38	19	33	21
その他鉄道	3	0	0	3	0	1	5	3	5	0	4	7	11	10	14
航空機	9	4	5	0	0	0	2	1	1	0	3	5	3	3	2
乗用車	27	13	15	55	37	45	51	35	41	37	40	48	66	52	61
バス	4	3	3	2	1	1	3	3	2	1	3	2	1	2	2
回答数	285		297	237		261	201		225	204		228	200		225

(2)山陽地方

	山口県			広島県			岡山県		
	前回		今回	前回		今回	前回		今回
	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後
		(見込み)			(見込み)			(見込み)	
新幹線	46	80	80	32	77	81	29	77	80
その他鉄道	14	2	1	12	2	1	12	2	1
航空機	19	9	7	48	16	12	52	18	13
乗用車	20	8	11	7	4	5	6	2	5
バス	1	1	1	1	1	1	1	1	1
回答数	175		207	186		210	179		207

(3)大阪都市圏

	兵庫県			大阪府		
	前回		今回	前回		今回
	全通前	全通後	全通後	全通前	全通後	全通後
		(見込み)			(見込み)	
新幹線	5	35	27	3	35	22
その他鉄道	1	0	0	1	0	0
航空機	94	65	72	96	65	78
乗用車	0	0	0	0	0	0
バス	0	0	1	0	0	0
回答数	192		216	243		269

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 (Tel 099-225-7491)